

執筆者紹介

松原 舞（マツバラ・マイ）

東京大学大学院博士課程在学中

フェリス女学院大学卒業。

台湾大学大学院修士課程修了。

東京大学大学院博士課程入学。現在博士課程2年に在学中。

研究分野：日中比較文学。現在は色彩語に関心があり、色彩語の成立を表記論の視点から研究している。

ANDASSOVA Maral（アンダソヴァ・マラル）

佛教大学総合研究所特別研究員

1982年 カザフスタン生まれ

2004年 カザフ国際関係及び外国語大学東洋言語学部日本語学科卒業

2008年 佛教大学大学院文学研究科（修士課程）修了

2013年 佛教大学大学院文学研究科（博士課程）修了

博士（文学）

主な著書に『古事記 変貌する世界——構造論的分析批判』（ミネルヴァ書房 2014, 3）、主な論文に「古事記における『シャーマニズム』——葦原中国と命名することについて」（『日本文学』, 64号, pp.11-21, 2015, 5）、「古事記のなかの出雲——ホムチワケのシャーマニックな体験から」（『現代思想』, pp.142-150, 2013, 11）などがある。

須藤 圭（スドウ・ケイ）

立命館大学助教

立命館大学卒業、同大学院博士課程修了。博士（文学）。日本学術振興会特別研究員（PD）などを経て現職。専門は、日本中古文学。特に、物語の享受に関する研究を進めている。主な著書・論文に、『狭衣物語 受容の研究』（新典社、2013年、第3回池田亀鑑賞受賞）、「源氏物語の「京都」はどう英訳されたか——創造された京都と、変貌する源氏物語——」（『海外平安文学研究ジャーナル』vol.1、2014年11月）などがある。

李 相旻（イ・サンミン）

東京大学大学院博士課程満期退学

韓国外国語大学と同大学院を卒業。2015年の3月に、東京大学大学院の博士課程単位取得退学。南北朝時代の歌僧、頓阿の和歌を専門分野にし、特に旅や歌枕にかかわる頓阿の歌を中心に研究してきた。

川内 有子 (カノウチ・ユウコ)

立命館大学大学院博士課程在学中

立命館大学文学部日本文学専攻卒業。現在、立命館大学大学院文学研究科博士後期課程に所属している。研究分野は、日本文学の海外受容で、博士課程では、「忠臣蔵」のヨーロッパへの伝来を中心的な課題として研究を行っている。

GUARINI Letizia (グアリーニ・レティツィア)

お茶の水女子大学大学院博士課程在学中

出身大学：ナポリ東洋大学

大学院：ナポリ東洋大学、お茶の水女子大学

日本での留学先：上智大学、お茶の水女子大学

研究分野：日本現代文学

発表した論文：「倉橋由美子『反悲劇』論——父に尽くす娘たちをめぐって」（お茶の水女子大学国語国文学会 国文第121号）

“From Text to Text. Rewriting the Father-Daughter plot in Kurahashi Yumiko’s ‘The Long Passage of Dreams’” (The International Association for Japan Studies IAJS Newsletter n. 11)

“From Text to Text. Rewriting the Father-Daughter plot in Kurahashi Yumiko’s ‘The Long Passage of Dreams’” (口頭発表 The 10th International Association For Japan Studies IAJS, December 2014)

“The Father/Daughter Relationship in Kakuta Mitsuyo and Yu Miri’s Work” (口頭発表 The 19th Asian Studies Conference Japan ASCJ, June 2015)

崔 惠秀 (チェ・ヘス)

早稲田大学大学院博士課程在学中

韓国の高麗大学を卒業した後、早稲田大学大学院文学研究科で修士学位を取得し、現在同大学院の博士後期課程四年に在学中。関心分野は近代日本の大衆文学で、主に中里介山の思想や文体を中心に研究している。最新発表論文には「「言」から「文」へ——中里介山『高野の義人』の改稿をめぐって」『社会文学 第41号』p113-126（不二出版、2015年2月）、「中里介山の「日本」——超国家主義の一断面」『2013年早稲田大学大学院文学研究科紀要 第三分冊』p97-111（早稲田大学文学研究科、2014年2月）などがある。

HARTLEY Barbara (ハートリー・バーバラ)

タスマニア大学アジア言語研究学科長

オーストラリア・クイーンズランド州出身。クイーンズランド大学人文学部博士課程修了 (Ph.D)、論題は『日本の二十世紀の文学における母性像』。

現在、タスマニア大学人文学部人文学科教授、アジア言語研究科長（日本語日本文

化専攻)。近現代日本の文学や美術作品に描かれるジェンダー、身体、ナショナリズムを主な研究分野とし、現在は武田泰淳の文学における「大陸像」について執筆中。

劉 銀炅 (ユ・ウンキョン)

中央大学大学院留学生

韓国、東国大学の国語国文学科を卒業し、同大学大学院で国語学専攻で修士課程修了。修士論文「韓国語の助詞ーが (-이/가)、ーを (-을/를)、ーの (-의) に関する研究」。日本、埼玉大学の文化科学研究科日本・アジア専攻修士課程修了。修士論文「『胡砂吹く風』に表れた半井桃水の朝鮮観」

現在、中央大学文学研究科国文学専攻博士課程四年。研究分野は近代日本文学。

2012年11月17日 「日韓関係における『胡砂吹く風』の価値」第36回国際日本文学研究集会ショートセッション発表

2014年3月 「半井桃水『胡砂吹く風』再考——初期小説の変化から——」『中央大学國文』(57号)

2015年3月 「語られない韓国——『満韓ところへ』の連載中止と関連して——」『中央大学國文』(58号)

深沢 眞二 (フカサワ・シンジ)

1960年生まれ。

和光大学表現学部教授。文学博士(2005年、京都大学)。

専門分野は日本古典文学、とくに連歌・俳諧の研究。

著書に、『風雅と笑い 芭蕉叢考』『旅する俳諧師 芭蕉叢考二』がある。

木村 聡雄 (キムラ・トシオ)

1956年、東京生まれ。

日本大学教授(英文学/比較文学)、ロンドン大学元学術研究員。

国際俳句交流協会理事、現代俳句協会国際部長、日本PENクラブ会員ほか。

[著書・共著]

『日英対訳：21世紀俳句の時空』、『英米文学にみる仮想と現実』、『丸善イギリス文化事典』、『ロンドンを旅する60章』、『彼方』、『いばら姫』、『ハイク』(フランス・ガリマール)ほか。

[講演、シンポジウム]

アメリカ俳句協会講演(シカゴ/エバンストン)、アメリカ文学協会俳句シンポジウムパネリスト(ボストン)、ファンロンパイEU大統領俳句講演企画・司会(ブリュッセル)、印日文学祭俳句講演(駐日インド大使館)、国際PEN大会俳句シンポジウム企画・司会(東京)ほか。

[選考委員ほか]

日EU英語俳句コンテスト選考委員(外務省・駐日EU代表部)、『週刊ST』高校英

語俳句大会選考委員（ジャパントイムズ）、世界こども俳句翻訳委員（JAL）、外国語俳句選考委員（国際俳句交流協会）、現代俳句大会選考委員（現代俳句協会）、映画『ほかいびと — 伊那の井月』字幕俳句英訳ほか。

FESSLER Michael (フェスラー・マイケル)

I have been a poet for fifty years. Originally I wrote exclusively in western forms; I started writing haiku after coming to Japan. I also write 'haikufiction.' That is, short stories about haiku poets and haiku groups. In recent years I have been studying Japanese tanka as well as tanka in English.

My fiction and poetry have appeared in many periodicals and magazines, among them *Harvard Review*, *QLRS*, *Poetry East*, *Atlanta Review*, *Kyoto Journal*, and *The Iowa Review*. I am also represented in various anthologies, such as, *The Broken Bridge: Fiction from Expatriates in Literary Japan* (Stone Bridge), *Baseball Haiku* (W.W. Norton), *The Red Moon Anthologies of English Language Haiku* (RMP), *Haiku in English: The First Hundred Years* (W.W. Norton), and *Haiku 2015* (Modern Haiku Press).

I have published a collection of haiku, *The Sweet Potato Sutra* (Bottle Rockets Press) and a textbook, *Design and Discuss* (Nan'un-do).

GURGA Lee (ガーガ・リー)

Mr. Lee Gurga is a past-president of the Haiku Society of America and former editor of the journal *Modern Haiku*. He is currently editor of Modern Haiku Press. His two books of haiku, *Fresh Scent* and *In and Out of Fog* that were awarded "First Prize" in the Haiku Society of America Book Awards; his haiku-writing guide, *Haiku: A Poet's Guide* was recognized by the Haiku Society of America as the "Best Book of Criticism" for 2004. He has been the recipient of an Illinois Arts Council Poetry Fellowship, the Japan-America Society of Chicago's Cultural Achievement Award, and an American Red Cross Healthcare Heroes Award. He practices dentistry in the farming community of Lincoln, Illinois, USA.

鳥羽田 重直 (トッパタ・シゲナオ)

和洋女子大学教授。中国古典文学専攻。

俳句関係：1979年、俳誌『沖』入会。能村登四郎に師事。1986年、『沖』同人。1998年、茨城県俳句作家協会新人賞。1999年、俳誌『天頂』（主宰波戸岡旭）創刊に参加。2000年、『天頂』同人。2007年、台北俳句会入会。

俳人協会会員。茨城県俳句作家協会会員。台北俳句会会員。全日本漢詩連盟会員。句集『蘇州行』。